

好感の持てる話し方・言葉遣い

1. 話し方・言葉遣いによる印象

同じ行動や内容であっても、話し方や言葉遣いによって、全く異なる印象として受け取られることがあります。

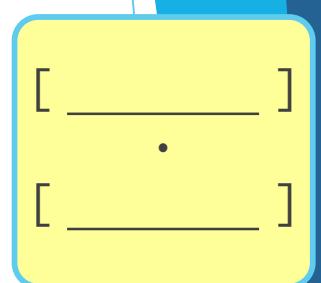
相手に印象付けるもの（好感・不快感の元）



+



+



- ○○をしてくれた
- ○○をやっている

〔社会人として適切な
服装・髪型等〕

言葉でコミュニケーションをとっており、
音や仕草の情報もインパクトは大きい

言葉遣い

[] ・ [] の選び方
(わたし、あたし、わたくし、など)

文章表現の仕方（～ですね、～だね、など）

話し方

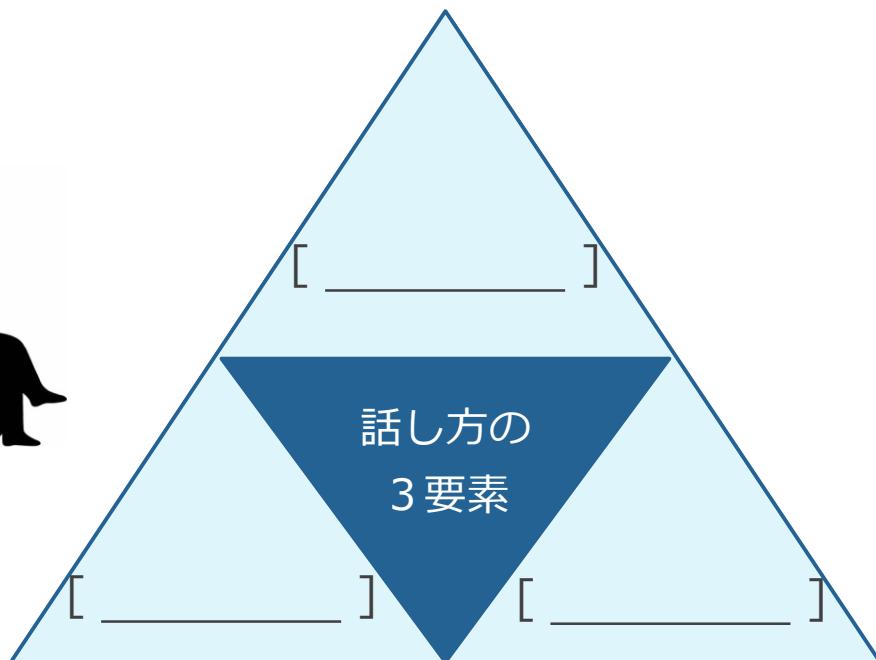
コミュニケーションをとる際の
[] や [] など



Memo

2. 社会人の話し方

話す内容が同じであっても、言い方によって相手に好感を与えるたり、不快感を与えるたりします



[_____]

- ・ 話しかける相手を呼びかける
- ・ ○○様（お客様）、○○さん
- ・ 男性に対する [___] 付け、友達や女性に対しての [___] 付けは適切ではない

[_____]

- ・ 呼びかけの発声だけでも、リラックスした雰囲気、緊張した雰囲気などが相手に伝わる
- ・ 基本的には、[___] 、 [___] 声で、[___] まではっきりと話す
- ・ 自信がなさそうに聞こえたら、相手は不安に思う

[_____]

- ・ 筋道のはっきりした話の組立
([___] · [___] ·
[___])
- ・ 話ながら考えず、伝えたいことをはっきりさせてから相手が理解しやすいように話す

Memo

3. 敬語

日本は、敬語の文化があるともいわれています。

敬語は、“話し手の気持ち”を言葉の中に込めた表現です。

敬語はなぜ必要でしょうか

- ✓ 相手を [_____] 気持ち、[_____] 気持ち、
[_____] の気持ちの表現
- ✓ [_____] の表現
- ✓ プライベート（私的）とは切り離した空間の形成



敬語の3つの種類

[_____] 語

話し手が話している相手や話している内容について敬意を示して高めている表現

[_____] 語

話し手が自分または自分が話している内容や対象について、へりくだる表現。謙遜

[_____] 語

立場の上下ではなく、砕けていない正しい用語遣いや美しさ上品さを加えた表現

口先だけの丁寧な言葉では相手には伝わらない
まず、[_____] 上で、適切な敬語を使う

Memo

✓ []から脱皮しましょう

- ○○っすね、のような省略言葉
- ○○くん、○○ちゃんのような日常言葉
- 自分のことを僕、わたしではなく、“わたくし”
- 学生時代の友達であっても、職場では、丁寧語を使う
- 男性でも“さん”付けて呼ぶ

✓ 感じの良い話し方を[]で表現しましょう

- 表情や態度にも気をくばる
- 肯定表現（例えば、「できていない」と言うのではなく「変えてほしい」と言うなど、より良い方向に向いて話している姿勢）
- クッション言葉（いきなり用件に入らずに、“場づくり”を行う）
- あとよし言葉（最後は、良い対話で終了するように心がける）

✓ 自然にできるように[]しましょう

- 正しい言葉遣いは、いきなりできるものではない
- 友人通じで指摘し合ったり、上司先輩に気づいた点を指摘してもらい、日々気を付ける



Memo
